

新武蔵野クリーンセンター(仮称) 合同勉強会 (第一回) 8月4日(月) 19:00~

基本計画策定委員会と施設・周辺整備協議会の共通課題である、「白煙防止装置の有無」「煙突の高さ」「生活環境影響調査」などについて合同で研究するため、月に1回程度の頻度で合同勉強会を実施することとなりました。参加は任意とし、荒井委員が進行役を行います。

【焼却施設の検討状況について(確認・決定事項と検討事項の整理)】

まず、焼却施設について委員会において検討され、一定の結論が出たことと、これからの検討課題として残されていることについて確認を行いました。

(委員からの意見・質問)

◆ カロリーとは何か？

燃えやすさの指標。ジュールであらわしているが、食べ物等に表示されているカロリーで考えると1ジュール=0.24カロリー。

◆ なぜ焼却炉でカロリーを設定する必要があるのか。その意味は？

温度域を設定することによって、それに耐えられるレンガの素材や配置を考えたり、車のエンジンで言うと排気量にあたるボイラーの容量を設定する必要があるため。

◆ ごみピット内での発火対策は？

ごみピット内は下に窪んでおり、発火することがあっても燃焼するために必要な酸素が行きわたらないためすぐに鎮火する。また、生ごみ等が発酵しても燃焼するほどの熱を持つことはない。

◆ 日量60tの炉を二つで30,000t処理するとの事だが、計算すると250日分である。これは、現施設と比べてどうか。

定期点検及び補修に45日/年。状態を見るための中間点検を15日/半年(もしくは1年一回)。一般的には年280日運転であり、余裕を見ている。

◆ 新施設の主要設備が耐用年数を迎えたとき、プラント更新によって対応することを明記しているか。

新施設を発注する時に、要求水準書にて明記することはできる。しかし、新施設をこの場所で60年以上稼働させるのかどうかについては、施設基本計画策定委員会の最終段階において議論する必要がある。

◆ 水銀について、どのように対応しているか。

水銀の自主基準値を持っているのは全国的に見ても東京二十三区清掃一部事務組合(一組)だけであると考えられる。一組では、連続測定を行っており、2時間連続で基準値を超えた場合には運転を停止する。武蔵野クリーンセンターにおいては年六回の測定を行っており、その中で水銀は、ほぼ検出されない。一番被害の大きかった足立清掃工場において検出された水銀は、業務用の水銀式血圧計が4台程度不正に廃棄された量であると推定されている。一般家庭から排出しうる蛍光灯などで考えると何万本にも当る量であり、業務用であったと断定できる。

◆ 排ガス処理過程を乾式にした場合、施設規模をどれくらい小さくできるのか。

2m×15mくらいの洗煙塔が不要になり、排水設備が10m×10mくらい小さくなる。

◆ 湿式において検出不能である塩化水素や硫酸化物について、乾式では数値が出るようになる。これは、現在より厳しくする基準値以下ではあるが、どう評価すればよいか。

例えば、新施設の煙突が59mになったとして、硫酸化物が排出基準ギリギリの10ppmで排出された場合、最も影響の大きい地点において0.0002ppm付加されるというシミュレーション結果がある。現在の環境下で約0.003(00)ppmの濃度であると考え、「300」か「302」の違いという風に考えられ、一般的に影響のある数字とは考えにくい。

【白煙排出実証実験について】

12月に予定されている白煙排出実証実験について、その実施要領を説明した後、施設・周辺整備協議会の委員であり、デザイナー/イラストレーターである木村文委員と事務局によってデザインされた、実験の説明チラシ案について検討を行いました。

(委員からの意見・質問)

- ◆ 「煙突からの白い煙を出す実験について」というタイトルはサブタイトルになるべきであり、主題は「クリーンセンターの地球温暖化対策」である。

何をするかという事が一目でわかる必要があり、このタイトルは大きく打ち出すべきであるが、同時に「地球温暖化対策」のためにやるということも目立たせる必要があるので、レイアウトや色の使い方を検討する。

- ◆ 周辺住民としては、「臭い」が気になる。臭いがするものではないということを、分かるように明記したほうが良い。
- ◆ 設備について、委員会資料で使っている名称とのブレがある。統一するか、小さく併記する必要があるのではないか。

このチラシでは分かりやすいことが一番重要であると考えているので、あまり記載内容を増やさないほうが良いと考えるが、今後委員会資料の方に名称を併記することを検討したい。

- ◆ 窒素酸化物について、ここに記載されていない。新施設で新しい設備として脱硝設備をつけるのであるからには、現施設で窒素酸化物が取りきれないので新施設では対策をするという記載が必要。なるべくシンプルなものとして、読みやすいものにしたいが、何らかの記載方法を検討したい。
- ◆ 白煙防止装置についてがメインであるのに、中の見開きは「クリーンセンターの排ガスについての安全対策」がメインであるように見える。
- ◆ 内容を詰め込みすぎであり、もっと省略してほしい。

何を省略することが出来るのかや、さらに分かりやすいレイアウトについて検討したい。

これらの意見を踏まえて、次回の合同勉強会(9月)において修正したチラシの案を出し、意見をいただいた上で確定します。チラシは、10月末ごろに周辺地域に配布する予定です。



今後の合同勉強会の日程

第二回：9月7日(火) 午後7時から約2時間 クリーンセンター3階 見学者ホール
第三回：10月7日(木) 午後7時から約2時間 クリーンセンター3階 見学者ホール